

# JAやまがた

4

2021  
Apr.



管内(山形市・上市市・山辺町・中山町)の組合員の方々にお届けします

山形市上東山  
酒井さんご家族

2 令和3年度事業計画素案に対するご意見・ご質問

4 特集 JAの未来 2021年秋完成予定

長編ドキュメンタリー映画『紅花の守人』

12 旬の料理 ごごみとエビのマヨネーズ和え



JAやまがた  
公式  
Facebook

広報紙 JAやまがた 2021 / 4月号 発行 / 山形農業協同組合 〒990-8535 山形市旅籠町1-12-35 TEL.023-641-3121 FAX.023-631-4714 http://www.jayamagata.or.jp/



ごごみとエビの  
マヨネーズ和え



プロに聞く  
やまがた  
旬の料理

●材料

- ごごみ…5~10本
- むきエビ…5~10尾
- 【衣】
- 薄力粉…大さじ3
- 片栗粉…大さじ1
- 油…大さじ1
- 水…約大さじ1.5
- マヨネーズ…100g
- コンデンスミルク…20g
- 生クリーム…適量
- 揚げ油…適量
- こしょう…お好みで

ワンポイントアドバイス

エビを揚げすぎないことで  
ぷりぷりした食感が  
楽しめます。  
ソースの生クリームは  
粘度調節として  
入れてみてください。



森谷秀和 / 「森の季」隠れ家的中華料理のお店。和の趣がある落ち着いた雰囲気の中で、旬の素材を活かしたこだわりの中華料理を美味しい日本酒とお楽しみいただけます / 山形市香澄町2丁目1-21 / TEL.023-665-5919 / 平日・土・祝・祝前17:30~21:00 営業 / 予約制 / 定休 日曜日・祝日(貸切りのみ営業可)



1 【衣】薄力粉と片栗粉をボウルに入れ、サラサラになるまで水を加えながら混ぜたら、油を加える。



2 ごごみはよく洗って一口サイズに切る。キッチンペーパーなどで水分をとってから、①にごごみとエビを入れ衣をつける。



3 170度くらいに油を熱し、少しずつ入れる。30秒ほどして揚げ上がり。揚げ時間はお好みで調整も可。



4 マヨネーズ・コンデンスミルク・生クリームを混ぜ合わせたソースで③を和える。最後にお好みでこしょうを振る。

オススメ読書



購読申し込み  
経済課  
TEL.023-624-8567



無農薬菜園はじめてよう  
楽しく続けるアイデア50

麻生健洲 著

ペットボトルで害虫捕獲、花を植えて雑草防止など、著者が普段実践している畑で役立つテクニックを50点掲載。身近な道具や環境をうまく使えば、ラクして楽しく無農薬栽培が実現できる。写真で分かりやすい！  
定価(税込)1,760円



これだけは押さえておきたい  
マンガで楽しくわかる防災BOOK

国崎信江 監修

地震や津波、台風、洪水…いつ襲ってくるかわからない災害に備えて、必要な安全対策といざというときの対処のポイントを伝える。マンガだから読みやすく、子どもも大人も楽しく学べる。家族みんなの必読書！  
定価(税込)1,320円

## 令和3年度事業計画素案に対するご意見・ご質問

令和2年度の地区別座談会は新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念し支店ごとの対面による座談会の開催はやむを得ず中止となりました。

2月中旬に組合員の皆様へ令和3年度事業計画(素案)の資料を配布し、ご意見・ご質問を書面にて承りました。

後日、支店長を経由して回答させていただいた一部についてご紹介します。

地球温暖化による、異常気象と自然災害が頻発し、持続可能な社会や食料供給の見直しが迫られている。この流れを国民世論に訴え、日本の農業を再構築できるのは全国組織を持つJAしかない。そのことを踏まえながら経営改革を進めてほしい。

JAグループ山形では、毎年「食料農業・地域政策」の推進に向け、農業分野のあらゆる項目について、県選出国会議員より大会へ出席いただき、国に対して意見・要望を行っています。組合員の皆様とJAの役割について議論し原点を見直し、支店地域を中心にした農業振興の取り組みを共に考えていくことが大切だと思えます。農地を活性化することで地域社会に貢献できるような仕組みが必要であると考えています。ぜひ地域リーダーの方々よりお力添えいただき、今後ともご協力賜りますようお願いいたします。

おいしさ直売所鈴川店が閉鎖して2年となるが、建物は老朽化が進み最終的にどうなるのか。

鈴川地区という好立地もあって、現

期を踏まえ利用取引件数実績等を考慮し、運行台数の見直しを行うこととしています。記帳専用機器の設置については、これまで取り扱い実績がないことから費用面だけではなく運用面も踏まえての内部協議が必要となります。早期での回答はできませんが、これを機に内部で検討してまいります。

昨年7月の大雨でたい肥センターが浸水し、長期にわたり稼働不能となった。今後の運営や水害対策等、将来に向けた方向性を示してもらいたい。

昨年11月24日にご説明しました通り、たい肥センターの運営については、今後3年を目前に存続について判断してまいります。

現在の立地については、これまで、度重なる大雨によって幾度となく被害を受けました。今後、大雨予報時は、事前に移動できる機械等は高台へ移すなど対応してまいります。が、予想を上回る大雨による被害が出た場合は、その時点で事業を停止させていただきますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

在は倉庫として有効活用できておりません。ご意見いただいたとおり、老朽化も進んでおりますので、次期の経営刷新計画等で将来的な利活用についても検討してまいります。

2019年2月の地区別座談会で二元販売の最終的な目標について、将来は10社〜12社程度に集約して市場取扱高3億円以上を目標にしていく予定と回答していますが、現在17社では有利販売できないのではないかと。

市場集約については、青果物販売協力会(17社)の再編を検討しておりますが、コロナの影響により会議の開催ができなかったことから延期している状況にあり、今後進めてまいります。

各販売手数料の値上げの提案があったが、組合員、出荷量の減少等の中で、JA離れにならぬよう、持続可能なJAやまがたの姿を早期に提示してほしい。

これまでは総合事業のなかで損失分は補填しながら、様々な農業支援

役員の選任と人数について。

役員の定数につきましては、中央会等の指針により正組合員約550名に対して理事1名、監事については約2,000名に対して1名を選任することが望ましいとされているなかで、正組合員の減少に伴い、JA合併以来これまで役員の定数を削減してまいりました。また、農協法の改正により理事の定数の過半数は認定農業者または農畜産物の販売法人の経営等に関し、実践的な能力を有する者でなければなりません。また、女性役員についても積極的な登用を考えております。今後も役員の行動基準を遵守し、組合員の皆様の負託に応えてまいりたいと思っております。

職員の人事教育、適材適所の配置、営農職員の増加をお願いしたい。また、職員の人事異動について、数年で替わるので戸惑うことがある。

職員の不祥事防止の観点とコンプライアンスの遵守及び長期間に亘る組織会計事務の見直しが求められており、人事異動や配置転換を実施しております。営農部門等の専門的な

を行ってまいりました。しかし、近年の低金利によるJA収益構造の変化等により、このままの状態では支援継続が難しい状況にきております。

JAの業務量調査の分析結果として、園芸関係については粗利率の2倍の費用がかかっており、第7次中期経営刷新計画のなかで、JA全体の経営と部門毎の改善計画が示され、販売事業では集出荷施設の統合再編及び販売手数料の改善を行うことを実施方針策とし、持続可能な安定的な経営を目指す方針となっております。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

直売所の販売額について、生産者分と仕入れ分を区別して教えてほしい。

令和2年12月末販売額15億5,239万9千円、前年比11.8%、来客数86万人、前年比10.6%となっております。生産者販売額では8億2,300万円、前年比10.2%となっております。直売所の仕入れの中心は米、肉、魚等で約60%となっております。なお、仕入商品を少なくするためにも、生産者の方々より、地

分野につきましては、部門横断的な頻繁な異動は控え、営農指導強化を重視した配置に取り組み、農業分野を学習してきた学生の採用に注力し、組合員の皆様や地域住民の皆様から信頼され必要とされる人材を今後も育成してまいります。

「経営改善チーム」とあるが、具体的にどのような活動内容なのか。

JA中央会や農林中央金庫から示されている経営シミュレーションに基づき、全国のJAがマイナス金利の長期化により農林中央金庫の奨励措置が大きく見直され、今後も信用事業の収益が減少します。農林水産省もJAに対して持続可能な経営基盤の強化(早期警戒制度)を迫っており、全事業収益の早期改善が必要と求められております。この度の第7次中期経営刷新計画の一部見直しを含め、尚一層のJA経営基盤の強化を図るべく「経営改善チーム」を組合長直属の機関として令和3年度より基本的に1年間(ただし延長も有り得る)設置し、基本方針実現のために取り組んでまいります。

物の農産物の生産・出荷をたくさんお願いいたします。

実行組合の存続について検討が必要ではないか。

農事実行組合組織につきましては、本来農家の自主的団体として地区における農業経済の実行組織として生まれ、後に系統農会の奨励によって行政の補助機関として位置づけられた組織です。JAとしても行政と連携し、今後とも組織継続に支援してまいります。

ATMの再編とありますが、店舗にあるATMを減らしていく考えですか。廃止した場合、通帳の記帳と繰越のみ行える機器を導入していただけないか。

マイナス金利の長期化により、貸出金利回りが低下し、JA収益の柱である信用事業の収益が低下しております。当JAでは金融部と共済部の統合やATM再編等による事務効率化・コスト削減を図りながら「盤石なJA経営基盤の確立」を指して取り組んでいるところです。ATMについては令和3年の更新時

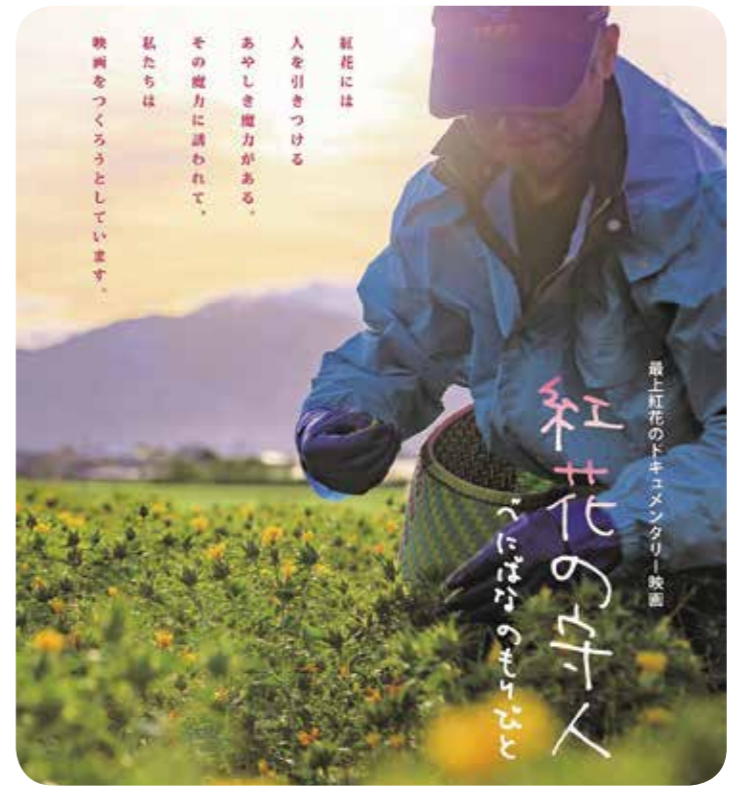
# 2021年秋完成予定 長編ドキュメンタリー映画 『紅花の守人』

紅花の魅力や歴史、そこから広がっていく文化を多くの人と共有し、映像として残すことで後世に伝えていこうと、県内有志が映画製作委員会を立ち上げ、今年10月のドキュメンタリー映画祭での上映を目指し製作を進めています。

映画を通して伝えたい紅花の魅力を製作委員会の会長を務める山形市七浦の長瀬正美さん、プロデューサーの高橋卓也さん、監督の佐藤広一さんにお話を伺いました。



「紅花の守人」スチール 片桐 いささん



## 山形県を支えた紅花を共有し後世へ

— 映画を製作するきっかけは。

長瀬 江戸時代に全国の半数以上の生産を誇った山形県の紅花は量、質ともに優れ、西陣織等の染色や化粧紅の原料として

持っている方達の繋がりで県内外のキーマンを訪ね歩き、それがとても魅力ある旅になりました。映画を観た方にも一緒に旅をした気持ちになってもうえれば嬉しいですね。

一緒に映画作りに参加してほしい

— 紅花や映画についてお伝えしたいことはありますか。

高橋 映画に登場する方々は紅花愛に溢れていて本当にいい表情で熱意を込めて話してくださいました。紅花が自分の人生を豊かにしてくれ、紅花と出会って良かったと映画を通して紅花へラブレターを送っています。また、この映画は皆さんからのご協力があつて初めて実現する企画です。皆さんから「市民プロデューサー」として映画作りに参加していただき、それを我々がいい映画にして返していきます。ぜひ、多くの人に観ていただきたいです。

佐藤 スポンサーがいて作っている映画ではないので、皆さんのお力と関心が必要です。映画の主演は紅花ですが、それを取



「紅花の守人」本編スチール

長い間女性を艶やかに彩ってきました。歴史的にも文化的にも山形県の大切な財産である紅花を県民みんなで価値を共有していくために映画を製作したいとプロデューサーの高橋さんに相談しました。

高橋 長瀬さんから最初にお話をいただいたのが2016年でした。広い分野に携わってきた紅花は奥深く、相当勉強しないと撮れないと思ひ撮影に入るまで2年間ほどかかりましたが、長瀬さんの情熱と私自

身も紅花の魅力に引き込まれ、2018年から佐藤監督をお誘いし、栽培の撮影に入りました。紅花を知らない2人が勉強し、人と出会いながらの製作が始まりました。

## 知らないからこそ、新鮮な映画製作

— 映画の撮影はどのように進めていますか。

佐藤 映画の製作は最初から、ある程度構成を決めて作る方



「紅花の守人」本編スチール



## 市民プロデューサーを募集しています

映画製作支援金として、下記の要件を充たしてご寄付していただいた方は、「市民プロデューサー」として、映画のエンドロール字幕にお芳名を掲載させていただきます。また、映画完成後の試写会や先行上映、各地域で使える招待券を1口のご寄付につき、2枚差し上げます。

- 個人 1口 1万円
  - 企業・団体 1口 3万円 (1口以上何口でも結構です)
- お問い合わせ (製作委員会・高橋)  
TEL.080-9639-9212  
benibana.no.moribito@gmail.com

## 紅花を巡る旅

— 紅花栽培の他にどんな撮

高橋 撮影では紅花に情熱を

法もありますが、今回は私も高橋さんも紅花のことを詳しく知らないなかでのスタートでした。

高橋 逆に言うとこれが本当のドキュメンタリー映画の作り方じゃないのかと。人に会って話を聞きながらの撮影ですが、我々も新鮮で楽しく、世界観が広がりました。

佐藤 今、撮影と同時進行で編集も始めています。長瀬さんや取材した方の人間味を伝え、ちょっとした面白いエピソードも発見するため、隅から隅まで確認して編集をしています。

高橋 逆を言うとこれが本当のドキュメンタリー映画の作り方じゃないのかと。人に会って話を聞きながらの撮影ですが、我々も新鮮で楽しく、世界観が広がりました。

佐藤 今、撮影と同時進行で編集も始めています。長瀬さんや取材した方の人間味を伝え、ちょっとしたちょっとした面白いエピソードも発見するため、隅から隅まで確認して編集をしています。



監督 佐藤 広一さん  
山形県出身。1998年、第20回 東京ビデオフェスティバル (日本ビクター主催) にて、短編映画「たなご日和」でゴールド賞を受賞。監督作の「世界一と言われた映画館」(19年)は高橋卓也プロデューサーと取り組んだ。



プロデューサー 高橋 卓也さん  
山形県出身。山形国際ドキュメンタリー映画祭では、立ち上げから関わり、2007年から事務局長、18年から理事。プロデュースした映画作品に「よみがえりのレンビ」「無音の叫び声」などがある。



製作委員会 会長 長瀬 正美さん  
山形県山形市七浦出身。農業。1979年から紅花栽培を始め、地元出羽小中学校で取り組む紅花の授業の講師を20年以上務める。「出羽もがみべにばの会」代表。

### 令和2年度までのJAやまがたの新型コロナウイルス感染症にかかる各種対応

1. 信用店舗窓口において感染予防対策（透明ボード、非接触型体温計等の設置）を実施
2. 新型コロナウイルスで売上減少等の影響を受けた生産者支援を実施
  - ①消費拡大運動を実施（対象品目は、米、牛肉、さくらんぼ、りんご、もも、ラ・フランス、ぶどう等）
  - ②次年度以降の営農振興のため担い手また農業施設導入予定者に対する支援（担い手支援・雨除け支援事業等の助成）

### 情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法第35条の5および農協法施行規則第81条に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を求めています。

当組合の理事の組合経営に関する気になる行為について、見たり聞いたりした事柄があれば電話又は封書にて、下記宛に連絡ください。よろしくお願いいたします。

#### 山形農業協同組合 監事会

住所 山形市旅籠町一丁目12番35号  
 電話番号 023-624-8554  
 (受付：月～金、9時～17時)  
 部署名 内部監査室（監事会事務局）  
 受付監事 常勤監事 田中 高治 宛

\*ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねます。  
 \*当組合の業務に関する一般的な苦情については、各支店・センターにご相談をお願いします。各業務に関するご相談は、本店でもお受けしております。

### 総代会資料について

- 各事務所への備え置きについて  
 農業協同組合法により、総代会資料は通常総代会の2週間前から、主たる事務所に備え置き、組合員の閲覧に供することが義務づけられています。当JAでは4月28日（水）から各事務所に総代会資料を備え置きますので、ご覧ください。
- お渡しする時期について  
 総代の皆様には、総代会の前にお渡しいたします。正組合員の皆様には、総代会終了後、広報紙とともにお届けします。

お問い合わせ 経営管理部 企画管理課  
 TEL.023-624-8265

### 総代選挙の結果について

この度の総代改選に伴い、総代定数510名が選任され無投票により決定いたしましたのでご報告申し上げます。なお、就任期間は令和3年3月15日～3年間となります。

### グリーンやまがた 野菜苗セール!

- グリーンやまがた中央 5月1日(土)～5月4日(火) 9:00～15:00
- グリーンやまがた西部・南部 5月1日(土)～5月4日(火) 9:00～16:00

ご来店お待ちしております!

### 理事会だより

今回の報告・協議された項目から抜粋して掲載しています。

- 第13回理事会  
 (2月25日開催)内容より
- 報告事項  
 ・外部出資の評価損計上  
 ・令和2年度新型コロナウイルス感染症に係る経営継続補助金事業  
 ・新選果機導入に係る広域選果場利用料金の設定
- 協議事項  
 ・令和3年度果樹団地(桃)事業の取り組み及び固定資産の取得  
 ・JAやまがた准組合員との関係強化にかかる取組方針  
 ・本店機構再編に伴う各規程類の廃止および一部変更

### 激動の時代を乗り越えるために

あの東日本大震災から10年の月日が経ちました。家族や地域のコミュニティの大切さ、そして命の尊さを改めて深く胸に刻んでいます。この10年間の間に、年号が平成から令和へと変わり、自然災害が多発、昨年は新型コロナウイルスが世界中を席卷し、皆様にとっても激動の時代ではなかったでしょうか。先を読むことができない時代だからこそ、今ある状況を的確に把握・判断するチカラが必要とされています。組合員の皆様と共に「地域になくはならないJA」をキャッチフレーズに、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化の為、邁進していきます。

令和3年度は、第7次中期経営刷新計画も最終年度となります。皆様のご理解、ご協力を得て、次世代へ繋がる“農業”そして“山形農業協同組合”を目指してまいります。

#### 役員より vol.22



理事 佐藤光之



### 今月の表紙 酒井さんご家族 (山形市上東山)

前列右から:義嗣さん、順子さん、瑠唯さん、瑠美さん  
 後列右から:春美さん、義喜さん、義和さん

瑠唯さんは、JA山形中央会が主催する令和2年度「農業高校生小論文コンクール」で優秀賞を受賞されました。小論文では、年間約120頭のイノシシが捕獲される高瀬地区の鳥獣被害を減らし地域農業を守るための提案や将来の夢が頼もしく書かれています。小学生の頃から両親の手伝いをしてきたことで自然と農業の楽しさややりがいを感じ、興味を持つようになり将来就きたい仕事として農業を志しています。また、猟友会に所属するお父さんの影響で、捕らえたイノシシを捌き、調理することもできるそうです。4月から山形県立農林大学校の果樹経営学科に進学し、ぶどう栽培を学んでみたいと話してくれました。

### 優秀賞 高瀬地区を守るために

山形県立上山明新館高等学校 食料生産科三年 酒井 瑠唯

私の住む高瀬地区は、農業が盛んな地域です。我が家は、水稲約4ha、露地及びハウス9棟でキク栽培を行う兼業農家です。中山間地の高瀬地区の中でも山あいに位置する我が家の水田は、山からの豊富な冷水で育てられているため、白さや甘さ、艶があり、一つ一つの粒が大きくおいしいと評判で、大変人気です。

しかし、高瀬地区では、野生動物の被害は深刻な問題となっており、私達農家は水田を囲むように電気柵を設置し、野生動物の侵入を防ぐ取り組みを進めています。更に、地域ぐるみで猟友会による有害鳥獣駆除に力を入れていきます。父は地元猟友会の会長として、県や市、地域の方々の要請により、定期的な巡回や駆除を先頭に立って行っています。しかし、猪は年々増加し、猟友会の高齢化も課題となっています。そこで、将来は猟友免許を取得し、女性ハンターとして活躍したいと考えるようになりました。猟友会に関わりながら、我が家や地域農業を支えるリーダーとなり、更に、秋から冬にかけての農閑期はそれまでに捕獲された肉を用いて、冬限定のジビエ料理店を開きたいと考えています。

近年、問題となっている耕作放棄地を利用して、獣を寄せ付けない緩衝地帯にできないか考えました。例えば、耕作放棄地にハックルベリーを植えるという方法です。ハックルベリーは完熟しないとソラニンという毒性の強い成分が含まれており、獣は食べ荒らすことができません。山と水田の間に耕作放棄地を挟むことで、人間と獣の活動エリアの棲み分けができるようになるのです。

高瀬を愛する人々が、いつまでも農業を中心とした生活が続けられるようにしたいと思っています。県立農林大学校に進学し、実践的な農業経営について更に学び、目標の実現に向けて努力していきます。(一部抜粋)

### アイデア募集中です!

### 雪若丸どんぶりレシピコンテスト

**募集内容**  
 次のすべての要件を満たす2名分のどんぶりレシピ。  
 なお、一人につき複数点の応募や、グループ・団体での応募も可。

1. 「雪若丸」の特長(大きくしっかりした粒感)を引き出すどんぶり(丼物)のレシピ
2. 新たな定番のどんぶり(丼物)となるようなレシピ
3. 容易に入手できる食材でかつ調理が簡単で、一般家庭でも手軽に作る事ができるレシピ
4. 未発表で自身のオリジナルレシピ

**応募資格**  
 「雪若丸」に関心のある方全て

**応募方法**  
 所定の応募用紙に記入のうえ、料理の完成写真(電子データ2MB以上)を添付し、コンテスト事務局宛に電子メールにより応募する。郵送で応募する場合は写真のデータ媒体(CD-R等)を同封すること。

**問合せ先**  
 (株)農協観光山形支店内  
 JAグループ山形「雪若丸」どんぶりレシピコンテスト事務局  
 ☎: ntour.yamagata@ntour.co.jp  
 ☎: 023-622-2750

最優秀賞と優秀賞には雪若丸や県産農産物を贈呈!

アイデア募集!

雪若丸  
 どんぶり  
 レシピ  
 コンテスト

募集期間  
 2021.3.19~5.6  
郵送は6日消印有効。メールの受付は6日24時まで

応募用紙や詳細はコチラから!

主催: JAグループ山形(山形県農協消費生活部、JA山形中央会、JA全農山形、JA東洋通山形、農林中金山形支店)

# JAやまがた NEWS TOPICS



2月6日(土)

## 神保拓磨さん直売所で野菜をPR

山形市飯塚で野菜を生産する神保拓磨さんは1月下旬、山形の伝統野菜「青菜」を多くの人に発信するため「ステップちやいどproject」をスタート。神保さんは昨年からの青菜の栽培にチャレンジし、青菜漬の加工事業をするエコープもとさわに出荷しています。第1弾として、エコープもとさわで販売する青菜漬を自費で100袋購入し、自身のSNSでプレゼント企画をした他、おいしさ直売所南館店でも、野菜を対面販売しながら青菜漬を配りPRしました。直売所の入り口に設置した対面販売ブースは来店者で賑わい、野菜は約1時間半で完売し、青菜漬も準備した70袋を全部配りました。神保さんは「自分のInstagramを見てくれる方が直売所に足を運び応援してくれていると実感できて嬉しかった。プレゼント企画は赤字だが、今は未来へ向けて種をまく時期だと思っている」と笑顔で話していました。

3月1日(月)

## 令和3年度スタート 辞令交付式

本店大会議室で令和3年度定期人事異動辞令交付式が開かれ、新型コロナウイルス感染症防止のため参加職員を縮小して行われました。営農経済部の強化を図るための増員、全店舗に複合外務員を配置、本店機構の再編などにより配属先や職務が変更になった職員は全体で211名の異動となりました。

岡崎輝明組合長は「第7次中期経営刷新計画の最終年として農業所得の増大、農業生産の拡大、地域の活性化を実現し、持続可能な経営基盤の強化をさらに進めていかなければならない。部門間連携をさらに強化、各部署において働きやすい職場環境を構築してワンチームで取り組んでほしい。組合員の皆様、地域の皆様から必要とされ信頼される職員を目指してほしい」と激励しました。



2月26日(金)

## 啓翁桜品評会表彰式



同部会の生産者が最高賞を受賞するのは今年で13年連続です。

山形県啓翁桜品評会で金賞第1席の県知事賞を受賞した南部営農センター蔵王花木部会の鈴木俊さんと、銀賞を受賞した同部会長の山口大さんは県JAビルで開かれた表彰式に出席されました。その後上山市役所を訪れ、横戸長兵衛市長に受賞の報告をし「啓翁桜」を贈りました。横戸市長は「若い生産者が挑戦し素晴らしい成績を残してくれて頼もしい。役所の玄関に飾り、桜シーズンを先取りして市民の皆さんから観賞してもらいたい。今後も上山市の生産者が上位を維持できるように頑張ってもらいたい」と祝福し、お2人は「これからも生産者同士が切磋琢磨し技術を高め合い、上山市を盛り上げていきたい」と話していました。

2月10日(水)・16日(火)

## 福祉センター青田で バレンタイン行事

福祉センター青田では、バレンタインデーにちなんで、利用者の皆さんが「フラワーボックス作り」と「スイーツ教室」に挑戦しました。

2月の第2週目に行った、フラワーボックス作りは縦15センチ、横20センチ、高さ5センチほどの箱に入れた給水スポンジに約10種類の花や葉っぱを短く切って刺し、色やバランスを見ながらアレンジし宝石箱のようなフラワーボックスを作りました。第3週目にはスイーツ教室を開き、湯せんで溶かしたチョコレート、スプーンですくってハート型のパイにかけ流し、チョコペンやトッピング用のカラフルなチョコスプレーを使い、自分の名前を書いたり、パイを動物に見立てて目を付けたり、自由にデコレーションを楽しみました。



2月15日(月)放送

## おしゃれに！かわいらしく！ テレビで米袋バッグが登場

地球温暖化対策が急がれるいま、エコにつながる取り組みをしている人たちを紹介する番組TUYの「えこいろ」でフレッシュミズ部（現在は女性部ゆめたね）の米袋バッグが紹介されました。

1月29日に本店で行われた撮影には、富田理恵子さん、山田敦子さん、菊地恵さんにご協力いただき、米袋バッグ作りを実演しながらインタビューを受けていただきました。富田さんは「米袋は色んなデザインがあって、捨てるのもったいないと思いバッグ作りを始めました。エコバッグの普及が広がる今の時代に米袋バッグはぴったり」、山田さんは「米袋は軽くて丈夫で使いやすい。持っているとき色んな人から声を掛けられ、コミュニケーションが広がります」とPRしました。



1月25日(月)

## 一足早い春 山形市へ啓翁桜贈呈



JAやまがた西部営農センター花き部会啓翁桜部会は、山形市へ「啓翁桜」を贈りました。斉藤稔部会長と神保藤喜雄副部会長が市役所を訪れ、佐藤孝弘市長に長さ120センチの啓翁桜10本を手渡しました。斉藤部会長は「12月の大雪で枝が折れる被害もあったが、出荷されたものは花芽の付きが良く、色も鮮やか。春を感じ和やかな気持ちになってほしい」と話し、神保副部会長は「啓翁桜は花芽が多く豪華さがある。丈夫で扱いやすいので自宅でも飾ってほしい」とPRしました。佐藤市長は「冬に華やかな桜を咲かせる素晴らしい技術を継承していただきたい。山形市の名産として宣伝していきたい」と話していました。

コロナ禍でイベントが減少している影響で、家庭用として飾る長さ80センチの啓翁桜の需要が増えています。



本店にも啓翁桜をいただき玄関に飾らせていただきました。

1月15日(金)

## 願いを込めて 伝統行事を体験

山形市の成沢郷土史研究会は、山形市立蔵王第一小学校を訪れ、小正月の伝統行事について体験授業を行いました。児童は、「コロナが収まりますように」「みんな仲良く元気に学校へ来れますように」など様々な願い事をしながら体験をしました。2年生は団子粉で紅白の団子を作り、ミズキの木に刺して飾る「団子刺し」を行いました。タイ、小判などを模した装飾や昆布、ユズリハの縁起物も飾り華やかな団子木が完成。1年生はお正月のしめ飾りや古いお札などを燃やし、天高く燃える炎や煙にお願いごとをする「いわいわ」をグラウンドで体験。3mほどの高さに積み上げた茅に書初めを貼り、火を点火すると勢いよく高く燃え上がり、児童は迫力ある炎に歓声を上げ、手を合わせて願い事を唱えました。



蔵王支店にも「団子刺し」を飾っていただきました。

# 読者の広場

4月号のテーマ  
震災から10年

震災から10年、家人別々の場所で体験。あの時どこで何をしていたと話しながら、その時の気持ちが思い出されます。災害教訓を忘れないようにします。(中山町1さん)

● 10年が経ち、普段忘れがちな地震の恐怖。年に1度でも家族と話題にし、防災の備えをすることは大切ですね。

● 40年ほど前、仙台で宮城県沖地震を経験。10年前、娘は仙台、息子は福島。山形の地震よりもその方が心配で案の定、最悪の結果。地震について山形市民は気迫が少ないような。危機感を高めましょう。(山形市Tさん)

● 被害が大きかった場所にご家族がいらっしゃったとは、大変な思いをされましたね。地震も含め、台風や豪雨被害も多発しています。災害時の心構えは常に持つべきですね。

● 隣のお宅の庭にピンクネコヤナギがあって、それを写真に撮ったりして楽しんでいます。透けて見えるようなピンクがなんとも言えず大好きです。(中山町Tさん)

● 3月号の撮影の時、稲毛さんからいただいたピンクネコヤナギを家に飾っています。可愛い色と形で癒されています。



山形市 Kさん  
絵葉書  
ありがとうございます。

## 息抜き

### クロスワード

あみがけの黒い部分に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう。



1	2			3
				4
5		6		
		7		8
9				

### ヨコのカギ

- 1 大勢が集まって楽しむ、にぎやかな催し。
- 4 キャンプの時に燃やす、燃料用の割り木。
- 5 表題、記事の見出し。
- 7 石や水のように固まっている物。
- 9 物事を行うときの技術上の能力。

### タテのカギ

- 2 動物の雄と雌の一对。
- 3 けもの・魚・虫などを数える言葉。
- 4 切った後、皮をはいただけの材木。
- 5 燃料にするための木。まき。
- 6 船や航空機で海外へ行くこと。
- 8 土地がくぼんでいて、水の溜まったところ。

当報紙へのご意見・ご感想に加え、テーマに関するエピソード・写真・絵葉書なども募集しています。

● 応募方法 / 「JAやまがた広報係」まで下記のいずれかの方法でご応募ください。応募者の「氏名、住所、電話番号」も忘れずにご記入ください。

郵便 〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35

Eメール kikakukanri@jayamagata.or.jp

● 締切 / 4月25日(日) (当日消印有効)

● プレゼント / 「クロスワード」正解者、またはご意見、ご感想を下された方の中から抽選で3名の方に「おしき直売所商品券」1,000円分をプレゼント。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

3月号のクロスワード答え：しゅんぶん

## 好きな花

### あとがき

2ヶ月連続で農業を志す高校生(現在は大学生)、稲毛さんと酒井さんにお会いすることができ広報紙で紹介させていただきました。お二人ともご家族が農業をする姿を見て育ち、お手伝いをされたなかで、将来の夢を描かれていました。目標を持ち生き生きと話す姿が頼もしく、その夢を後押ししてくれているご家族がとても素敵でした。

# 東日本大震災から10年を迎えて

2011年3月11日、東日本大震災が発生。巨大津波と原発事故は戦後最大の複合災害でした。10年の節目を迎え、あの時の思いと経験を忘れず、教訓を後世へつなげていきたいと思います。

JAやまがた全施設で黙祷  
東日本大震災から10年目を迎えた3月11日の朝礼で、震災による犠牲者への哀悼の意を表すとともに被災地復興を願う1分間の黙祷をささげました。

当JAでは、2012年から毎年3月11日に、黙祷をささげると同時に防災・減災への意識と、節電・節約実施運動の再確認をしています。

3・11 JA職員が津波に遭遇  
園芸販売課の坂本健 課長と同課の志田芳久 主任は、仙台市宮城野区の仙台港近くで津波の恐怖に遭遇しました。「夢メッセみやぎ」での食



のイベントで、JAのおしき直売所のPRをしていた時、地震が発生。スタッフや来場者など約600人と、隣接する建物の5階などに慌てて避難。窓を見ると、すさまじい勢いの津波が押し寄せ、危機

一髪の恐怖を感じたその時です。坂本課長は「的確な避難誘導がなかったら命を落としたかもしれない」、志田主任は「震災の番組で津波の映像が流れると自然と涙が出てくる」と振り返り、2人は「あの日の記憶は今も鮮明によみがえってくる。これからも東北全体が一体となって復興できるように盛り上げてい

きたい」と話されました。

宮城県石巻市へ炊き出し支援  
1999年10月16日に石巻市の表浜漁協(現・宮城県漁業協同組合表浜支所)と姉妹協同組合協定を結んで産地間交流をしていた縁から石巻市へ炊き出し支援に出向いています。

1回目は震災から約1ヶ月後の4月8日、被災者約150人が避難生活をしている市立奇磯小学校に出向き、おにぎり、芋煮、玉こんにゃく、漬物を調理し振る舞いました。当時、経営管理部総務課の課長として現地向かった羽角克之上席主任は「現地はまるで戦争で空襲をうけた後のような想像を絶する悲惨な状況だった。一面ががれきりの中に打ち上げられた船やひっくり返った車、独特な匂い。がれきが散乱する傍らで子ども達がサッカーをして遊んでいた姿が忘れられない」と当時を振り返りました。2回



東日本大震災を振り返る羽角上席主任

目の炊き出しは同年9月17日、大原小学校と同小学校を間借りしている谷川小学校の合同運動会が開かれたのに合わせ、児童と地域住民ら約300人が集まった会場で芋煮やおにぎりを振る舞い参加者を応援しました。羽角上席主任は「今年も大きな地震があり、津波、原発の怖さがよみがえった。隣県として災害にあつた時の対策を考える必要もあり、東日本大震災は決して忘れてはいけない出来事だと改めて感じた」と話していました。



岡崎組合長は「全農ライフサポート山形は年間の車検台数、整備制度も県内トップクラスを誇る車両整備工場。当JAの組合員の皆様へ安全安心な車を提供するためスムーズな業務提携になるようお願いしたい」とあいさつされ、落合社長は「今後とも色んな取り組みをお互いに協力していきたい。車両整備については安心してお任せください」と話されました。



当JAと(株)全農ライフサポート山形は車両整備業務委託契約を締結するため調印式を行いました。岡崎輝明組合長と(株)全農ライフサポート山形の落合規幸社長が契約書を取り交わしました。JAでは2009年2月13日から車検業務を同社に委託していますが、新たに、車両の一般整備、外注整備、板金整備作業を業務委託します。

# 3月11日 車両整備業務委託契約調印式

女性部では、新型コロナウイルス感染症防止対策をしながら活動を行っています。

1月22日

## 「手芸コンクール」

本店で手芸コンクールを開き、各支部から62作品153点の出品があり、岡崎輝明組合長、女性理事2人、女性部三役4人が審査されました。

### 「手芸コンクール作品集」

例年なら、出品された作品は「新春のつどい」で展示し、部員が鑑賞していましたが新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、作品集を制作しました。カラー16ページで全作品を写真で紹介しています。支部を通じて全部員に配布しました。出品作品の作り方を冊子にした「作品集(作り方)」も18部制作し各支部に1部ずつ備え置きしています。



※写真撮影のため、一時マスクを外しております。



数量限定 作品集を差し上げます！  
ご希望の方は下記までご連絡ください。

本店経済課女性部事務局・岡崎  
TEL.023-624-8567

## 工夫を凝らした62作品の力作から9点が入賞しました。



組合長賞  
南沼原支部 鈴木安子さん  
「豊へのマスクケース」



女性部長賞  
大郷支部 桜井佳子さん  
「小さくためたてたっぶり入るエコバッグ(大・小)」



優秀賞  
出羽支部 長瀬ひろこさん  
「折り紙万華鏡・鶴の飾り玉  
その他17点」



優良賞  
明治支部 伊藤昇子さん  
「リバーシブル手提(4枚接ぎ)」



奨励賞  
宮川支部 漆山啓子さん  
「端切れて作る布ブローチ」  
(講習会で教えていただいた物をアレンジ)



団体賞  
蔵王支部 「草木染めてぬい」



団体賞  
中川支部 「おひな様」



アイディア賞  
飯塚支部 「風呂敷エコバッグ」



アイディア賞  
大曾根支部  
「クラフトテープでつくる花びん」



アイディア賞  
大曾根支部  
「クラフトテープでつくる花びん」